

鹿児島与論会創立90周年記念事業

実施趣意書

昭和2年(1927年)11月、鹿児島市に住む与論を故郷とする人たちの愛郷心と相互扶助への思いを結集するため、与論出身の医師・野村政尚氏によって「在鹿与論村人会」として産声をあげました。

第一回の総会は60名の会員で始まりましたが、昭和の中頃には「相互扶助と福祉の向上と親睦」を掲げて会員は420世帯1200名へと発展しました。

しかし、在鹿児島与論村人会の過去を振り返ると様々な艱難辛苦がありました。

昭和13年当時の花形産業であった紬業界も軍需産業に代わり、戦時体制下で7年間も活動中止を余儀なくされました。戦禍はひどく、鹿児島市の90%が消失し、外地から引き揚げてくる将兵、同胞、満州開拓団等々がありました。

また、その後奄美は米軍の統治になりましたが、2年にわたる激しい復帰運動の末に日本復帰を実現しました。このように時代に翻弄されながらも先人達は相互扶助の尊い理念の下に「在鹿与論村人会」改め「鹿児島与論会」を築きあげて今日に至ったのであります。

創立90年の節目の年に当たり、尊い先人達の足跡を辿りながら、これからの私たちの進むべき方向や活動のあり方等を求めて行きたいと思えます。皆様のご理解とご協力を賜りながら、以下の記念事業を実施致します。

- 一 【記念式典の開催】 会員・関係者各位が一堂に集い、本会の創立90年の歩みを振り返り、「卒寿の祝い」として故郷与論を始め全国与論会の方々そして本会のゆかりの方々をお招きして盛大な式典・祝賀会を行います。
- 二 【感謝状贈呈】 鹿児島与論会の発展に多大なご貢献をされた方々に敬意と感謝を捧めます。
- 三 【90周年記念誌発行】 今日までの歩みを末永く記録にとどめます。
- 四 【会員名簿の改編】 会員の変動などに伴う5年ごとの再編。
- 五 【鹿児島与論会会旗の復刻】 老朽化のため行うものであります。
- 六 【創立90周年記念秋季大運動会】



平成28年12月吉日

鹿児島与論会会長

高橋 肇

同 90周年記念実行委員長

嘉味田洋祐

同 顧問代表

黒田 晃正

同 事業アドバイザー

川上 哲三